

「北区民ふれあいまつり2019」での啓発活動を振り返って！

年号が「令和」になって、最初の「北区民ふれあいまつり2019」が、5月26日（日）10時から14時30分まで、京都府立清明高等学校グラウンド（北区役所東隣）で盛大に開催されました。朝から晴天に恵まれ過ぎ、炎天下の中での開催でした（最高気温が33.5度という5月下旬にしては厳しい暑さでした）。

9時過ぎから、私たち（藤井委員、田中委員）と行政相談センターの廣田所長と池田係長とで、出店ブースの飾りつけや、ハート形の風船を膨らまし、ティッシュペーパーに相談会の案内チラシを折り込むなど、啓発・広報活動の準備作業を行い、オープンに備えました。



飾りつけ完了

10時からの開催セレモニーとともに来場者が出店ブースに來られました。

今年度の出店ブースは、ステージの見える絶好のロケーションに恵まれ、往来も多くありました。

子どもたちには、好きな色の風船を手渡しました。大人の方には、ティッシュペーパーを手渡しました。



炎天下での啓発活動

出店ブースの隣のブースが、人権擁護委員が出店するブースであり、そのブースには、『アンパンマン』の生みの親として知られる漫画家やなせたかしさんがデザインした人権イメージキャラクター人KENまもる君と人KENあゆみちゃんのぬいぐるみが下の写真のように置かれていました。



人権擁護委員の出店ブース
左が人KENまもる君、右が人KENあゆみちゃん

子どもたちは、もらった風船を持って、そのぬいぐるみと、ツーショット写真やスリーショット写真を家族に撮ってもらっていました。

楽しい思い出の一つになったと思います。

風船の手渡しは、他の出店ブースでも渡しておられたので、昨年度よりはもらう子どもさんが少なかったように私は感じました。

主催者である北区役所の松本和加子区長が昼前に激励に来てくださいました。

午後1時半過ぎには、予定していた啓発物品をすべて配布することができ、当日相談も1件あり、4時間半があっという間に過ぎた感じでした。



右から廣田所長、藤井委員、松本区長、田中（報告者）

主催者に聞いたところ、当日の来場者は昨年度と同じ約9,000人だったそうです。

天候に恵まれ、多くの人出もあり、啓発活動には最適であり、充実した一日でした。

報告者 京都市北区担当 田中行夫